

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年2月10日

【評価実施概要】

事業所番号	1173200856
法人名	株式会社 ライトータルサービス
事業所名	ライフタウン愛里
所在地	〒355-0321 埼玉県比企郡小川町小川715-2 (電話) 0493-72-7212

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成21年2月9日

【情報提供票より】(平成21年1月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 4人, 非常勤 17人, 常勤換算 15.7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て
	1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	15,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	250 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	150 円
	または1日あたり 1,400円			

(4) 利用者の概要(1月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	78 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小川赤十字病院、宏仁会小川病院、立川歯科、巖歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、協力医療機関である総合病院がすぐ近くにあり、商店街、学校、公園等が徒歩圏内の住宅地に位置している。平屋建てでアーチ型天井は高く開放的であり、通気・採光に優れ落ち着いた雰囲気である。また、中庭は2つのユニットの間に位置し、芝生、花壇、畑、ベンチ等があり、昼食会やレクリエーションなど多目的広場として機能している。また、利用者一人ひとりの力に応じた学習療法をとり入れ、成果を上げている。利用者との関係が大変良く、共に助け合いながら生活を営んでいるグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価結果については月例ミーティングで検討し、トイレのタオル、食事の調理方法、配膳の工夫等に取り組んでおり、現在は改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員が話し合いのうえ自己評価の項目ごとに担当を決め、記入されたものを管理者が取りまとめている。外部評価の結果もあわせて全職員で再度検討している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、ホームの運営や年間行事企画及び実施報告、年2回の家族会の企画やホーム5周年記念行事に関する事などについて検討し、運営推進会議の委員も積極的に協力している。利用者の姿は生き生きとしており、サービスの向上に活かした取り組みがされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>年2回の家族会や運営推進会議に家族代表に参加してもらい、意見や苦情等を言ってもらおうようにしている。また、個人的な事項については面会時に直接話を聞くように努めているほか、目安箱を設置している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、各種イベント(映画会、夏祭り、バザー等)に利用者と一緒に参加している。また、地域ボランティアの協力を得て、ホーム行事を企画運営している。日常的には、散歩や買い物等で利用者と共に外出した際に挨拶を交わすなど地域住民とのふれあいを大切にしている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者各々が自立、希望、感謝の念を持ち続けられるための心のケアを理念として、日々のケアに取り組んでいるが、地域密着型の理念はつくりあげられていない。		利用者一人ひとりの尊厳を重視し、独自の理念に基づいたケアをしている。今後は既に実践している取り組みを活かし、地域の中におけるその人らしい生活の充実を理念に掲げることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を明示しており、職員は入退所時に理念を確認し、ケアの実践に取り組んでいる。また、月1回のケア会議では理念の確認と共有化を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入し、映画会、夏祭り、バザー等の各種イベントに利用者と共に参加している。また、地域のボランティアの協力を得て、ホーム行事を企画実施するなど地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については、管理者、職員とも評価の意義を理解したうえで役割分担して行い、改善が必要な内容については月例会議で検討し、具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、市担当課長、自治会長、民生委員、家族代表、利用者代表、ホーム管理者がメンバーとなり、事業計画・報告、意見、要望のほか外部評価の結果についても報告し、検討したものをサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には必ず出席してもらい、意見や指導を受けサービスの向上に努めているほか、必要に応じて担当者に相談をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には利用者の様子を報告している。毎月金銭管理の報告、請求書送付の際に家族会や夏祭り等の行事写真を同封しているが、定期的な便り等の報告はされていない。		利用者の日々の暮らしぶりや健康状態は詳しく記録管理されていることから、家族にその具体的な内容を定期的に報告することが期待される。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への家族代表の参加を得たり、年2回家族会議を開催して意見や要望を聞いている。玄関には目安箱を設置し、不満や苦情を受け止めてホームの運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ職員の交代はないが、日頃より全職員で利用者全員をケアするシフトを組んでいる。離職者のフォローが十分出来るよう、また、利用者へのダメージを防ぐ体制をとっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修プログラムを明示し、職員個々のレベルに合わせた研修を年1回以上出張扱いで受講できるようにしている。研修終了後は会議時に伝達講習を実施し、研修内容の共有化を図りながらケアの質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くのグループホーム間で利用者と一緒に相互訪問等の活動をしている。さらに地域の同業者と交流を深めるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が職員やホームでの生活に徐々に馴染みながら利用できるよう、見学、体験入居(1週間を目安)制度を設けている。また、本人や家族と話す機会を設けて、写真や生育歴からその人となりを把握するよう努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生経験豊富な利用者ばかりなので、職員は利用者から料理方法、郷土風習、野菜づくりなどを教えてもらい、学びあう関係を大切にしている。一緒にレクリエーションなどを行い、楽しみや喜びの共有に努めている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日々の暮らしぶりを理解し、会話やその日の変化から希望や意向を把握するよう努めている。面会時には家族からの要望も含め職員間で共有し、本人の意向に沿うケアに取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時にアセスメントシートによって利用者の背景や健康状態等を把握するとともに、ホームでの暮らしや受けたいサービスなど本人・家族の希望、意見を聞いている。それらを踏まえ、ミーティングで話し合い、利用者本位のケアプラン表を作成している。なお、ケアプラン表については家族へ送付し、確認を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3か月に1度、生活行動や心身の変化等について「ケース記録」「モニタリング表」などを参照に、本人・家族の意向も聴いて現状に即した計画に見直している。また、計画の内容については家族の確認を得ている。急激な体調の変化や入退院等の場合には随時見直しをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望に応じて外出や予定外の通院介助等を行ったり、また、必要に応じて医療機関や他施設との連絡調整も出来る範囲で支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や本人の希望により、かかりつけ医の定期受診や、すぐ近くにある協力医療機関への緊急受診介助をしている。また、医師や家族と連携をとるなどの支援もしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者本位のケアをしているため、管理者は利用者・家族が希望すれば、寝たきりの状態になってもホームで対応できる限りみていきたいと考えている。今のところ重度化や終末期の方針について共有化が図られていない。		今後、利用者の長期化に伴い重度化は進行することが予測される。家族、医療関係者も含め、重度化への対応を検討し、職員全員で方針の共有化をすることが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人を傷つけることが無いように言葉かけや対応に注意を払いながらケアしている。個人情報保護に関しては、職員採用時によく説明し署名捺印している。書類等の取り扱いにも十分注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課は決まっているが、本人の希望にそって散歩、買い物、公文式学習療法などを取り入れている。また、一人ひとりのペースに合わせて入浴時間の変更等にも応えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は料理の得意な利用者から教えてもらうこともあり、楽しく準備している。また、利用者は献立表を書いて提示したり、おしぼり配り・配膳・食事後の片付け等を和やかな雰囲気の中で共同作業している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室は家庭的な雰囲気で、入浴剤を入れて楽しめるように工夫している。入浴日を決めて利用者の希望により順番を決めて支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を参考に個々にあった役割を決めて、職員と一緒に日常生活を楽しめる支援をしている。また、公文式学習療法では1対1で向き合うことができるので、心を開いて話をしたり楽しみにする利用者が多い。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は職員と一緒におやつや買い物に出かけることを楽しみにしている。また、公園への散歩、犬の散歩の付き添い等の支援をしている。外出が出来ない時は、中庭を憩いの場として利用している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、自由に出入りができるようになっている。利用者一人ひとりの行動を理解してケアにあたっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防・避難訓練を実施している。連絡網やマニュアルを作成し、不定期に夜間の避難訓練も実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態が把握できるように、食事・水分摂取量、排泄量のグラフを作成し、支援についての検討資料や受診時の経過報告に利用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井が高く、採光や通風が大変良い。また、中庭には芝生、花壇、ベンチが配置されるなど開放感がある。居間は床暖房になっており、コタツやテーブルが配置され、好みの場所で過ごせるよう工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋に換気扇やエアコンが設置されており、その日の状況により調整できる。本人に馴染みのあるもの、ピアノ、仏壇、ぬいぐるみ、ソファ、タンス等が持ち込まれ、個性的なその人らしい居室になっている。		